

ものづくりの末端から見た技術者倫理 Engineering Ethics from the Point of Manufacturing Site

小柳 拓央

要 旨

ものづくりの末端に身を置くと上層の技術者に現場の声を届けるのが難しい。そのため、知見や配慮があれば回避できたトラブルが市場に流出、あるいは企業間での信用問題となってしまうことがある。設計するものが、どのように流れ・作られるか把握し、時には現場の声に耳を傾けよと技術者に訴えかけることも、ものづくりの末端から見た技術者倫理である¹⁾。

It is difficult for production engineers and workers to communicate to designers. The results cause the trouble that may be avoided by knowledge and consideration. Furthermore, the trouble expands to the market and confidence problems between companies. It is also engineering ethics that the works owner appeals to engineers to understand the manufacturing process of the product and listen to the voice of manufacturing site.

キーワード：町工場、ものづくり、工業塗装、技術者倫理、トラブル事例

Keywords: Engineering Ethics, Industrial Coating, The Voice of Manufacturing Site, Manufacturing Process of the Product

1. はじめに

筆者は、東京の墨田区で工業塗装の専門家として町工場を経営している。所在する墨田区は、東京では大田区に次ぐ町工場の集積する地域であり、東京スカイツリーの開業で現在賑わっている。

しかし近年、大手企業製造拠点の海外移転・現地化により、中小零細製造業は影響を受け、また後継者不足もあって技術・技能の空洞化が危ぶまれている。筆者自身、急速な産業構造の変化と厳しい景況を肌身に感じている。

そのような状況下、撤退や廃業した会社の仕事を引き継ぐ依頼を受けることがある。依頼元は、やはり中小零細企業であり、その多くは金属製品を扱う中小メーカー、もしくは加工業者である。今までの仕事を聞いてみると、トラブルに発展してもおかしくないケースもあり、その理由は設計に関わる技術者が「工業塗装のことがよく分からない。」ということに起因している。そのため、後に倫理に関わる事例も経験

2012年9月28日受付
KOYANAGI Takuo